



【団体概要】

村田川流域の里山・谷津田の自然生態系を保全・復元し、次世代に継承する活動を支援しています。その第1歩として、産業廃棄物処理場計画跡地の水源涵養林復元に取り組中です。

構成員：県自然観察指導員2名、県森林センター研究員1名。  
地元土地改良区・小山町14名、あすみが丘住民等32名、子供45名  
設立：平成18年8月

活動紹介

緑の環・協議会

理事会一運営方針や年間計画等を決定。

- 一森を守り育てる会共同運営チーム（\*）
- 一企画政策担当（渉外）：生物多様性ちば県民会議等への参加
- 一調査・植林技術担当：表土のない土地への植林技術の試行
- 一広域交流担当：源流域活動団体との交流・連携
- 一広報担当：WEB、記録、会報、出版

（\*）板倉・大椎土地改良区と共同にて「森を守り育てる会」会員90名を設立して、水源涵養林の復元活動に取り組んでいます。子供や親子が参加する森づくりパーク、自然と触れて元気になる癒しの森づくりを進めています。

- ①ESD地域ミーティング in 土気開催 H18年10月49名参加
- ②自然植生調査H18.10
- ③G20記念事業「小山町観音地で植樹祭と自然観察会」H20年3月子供36、大人116名参加
- ④定例作業 H20年6月より毎月1回、約平均30名参加
- ⑤読売新聞のエコ潮流に活動内容掲載。

モデル事業

山砂採取跡地の水源涵養林への復元事業

- 事業期間：平成20年9月～平成21年1月
- 事業の目的：自然植生に注意を払いながら困難な森の復元に向けて土地所有者、地元住民、子供や都市住民が共同して楽しみながら森の復元活動を行う



活動の内容

植樹後の苗木の形而変化を観察しながら、草刈・水遣り・腐葉土・追肥し、月1回の手入作業実施。昭和の森の落葉、木材原料、雑木山の土などを集めながら子供と親が参加し観察運搬するイベント（森の堆肥づくりの阿里さんになって）を実施。専門家の指導を受けながら植生調査及びちば里山センターの協力により刈払機等の講習会を2回実施。

今後の方向性

今後も専門家や経験者の指導を受けつつ、森づくりにイベントを盛り込みながら楽しみながら毎月の手入を実施したい。また、早急に千葉市谷津田等の保全区域として跡地全体を指定するように市に申請し、千葉県、千葉市等の参加・協力を得て、村田川流域の緑地ベルトの保全を呼びかけたい。

問い合わせ先：〒267-0066 千葉市緑区あすみが丘2-38-15  
電話：043-294-6885 FAX：043-294-6885 代表者：奥山淳  
メール：er8m-hsn@asahi-net.or.jp URL：http://www.g-cycle.org